

報道各位

## 2019年 TOKYO FM 新入社員に寄せて ～代表取締役社長 千代勝美 挨拶～

**株式会社エフエム東京は、本日10時より2019年度入社式を実施し、代表取締役社長・千代勝美が新入社員に向けて、以下の挨拶を述べました。**

※2019年度新入社員は 女性社員3名

入社おめでとうございます。今日から皆さんは我々TOKYO FMの仲間であり、放送人としてスタートします。

ご存知の通り、来年2020年の東京オリンピック、パラリンピックの年にTOKYO FMは開局50周年のアニバーサリーイヤーを迎えます。

1970年の開局以来、我が社は当時の新しい音声メディア「FM」が今日ある発展を牽引してきました。そして、数々の記憶に残る音楽シーンを彩り、文化的社会的な使命感を忘れず、新しい時代時代の放送文化を作ってきましたが、その歴史は我々の誇りであり、大いなる放送人としての自覚の源泉です。

しかし、今日、通信の目覚ましい発展と高度化、即ち超高速化、超大容量化により放送事業は構造的な変革を迫られています。その発展のスピードは、地殻変動とさえいえませんが、その変化に敵対するのではなく、むしろ放送事業が発信力を強め、データマーケティングを活用するなど、融合の方程式を考えるべき時代にあると思います。

TOKYO FMの歴史の歩みに、安住するのではなく、常に新しい時代を作り、技術の力やコンテンツの力を作る、進取のチャレンジ精神というTOKYO FMのDNAに大いに学ぶと同時に、みなさんが放送文化の創造の主役であるということのを忘れずに、高い志をもって、やっていただきたいと願います。

決して、既成概念や枠組みに囚われたり、他人に迎合したり、安定を望むのではなく、心の自由さをもって、新しい時代への感応力を磨いて、自分という独自性の価値を創ることに貪欲になってもらいたい。その先には必ずや、生きがいと心豊かな将来があるはずです。デジタル時代の新しい放送人として、社内に大いに新しい風を吹かせていただくことを期待します。

(於:エフエム東京)